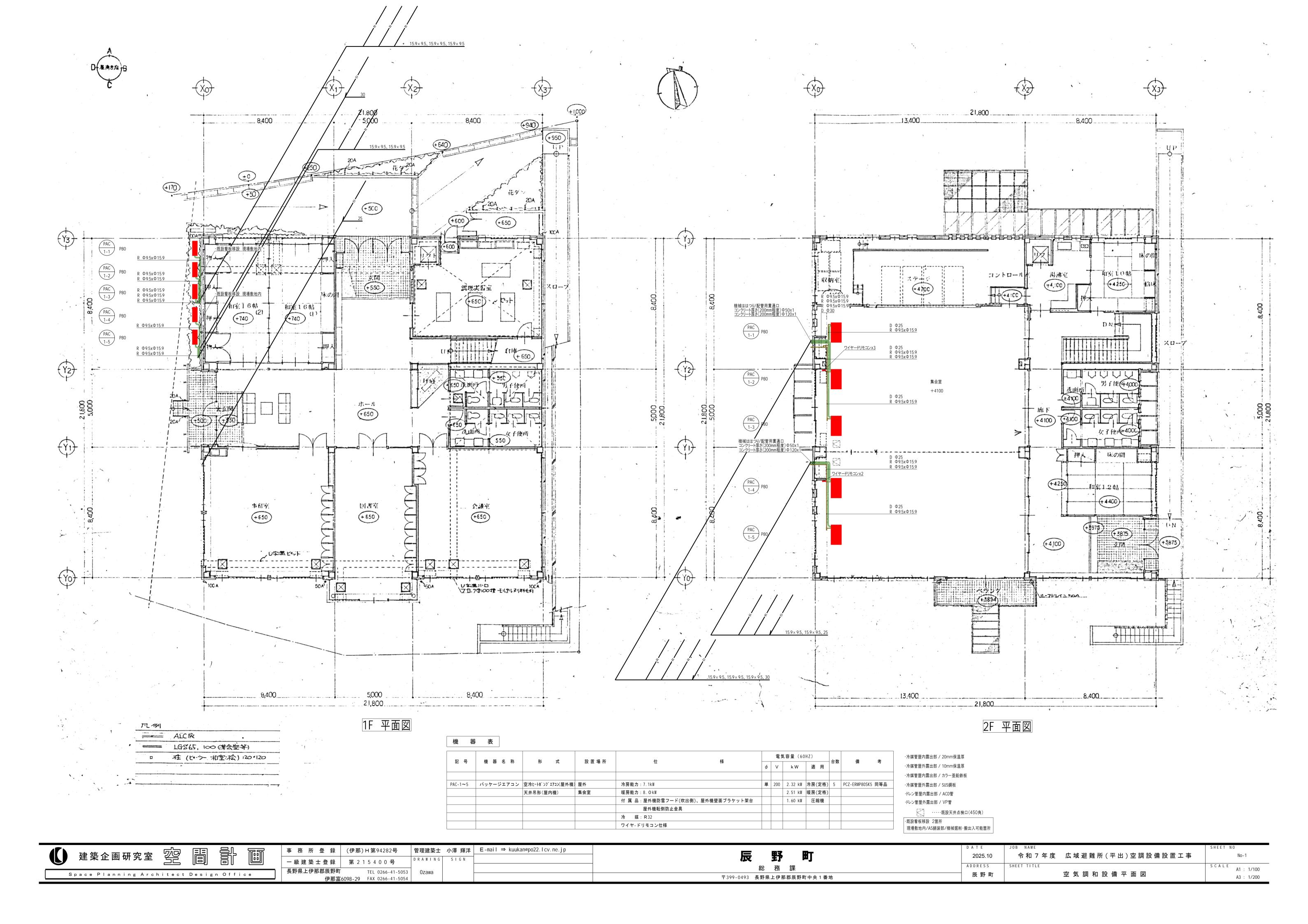
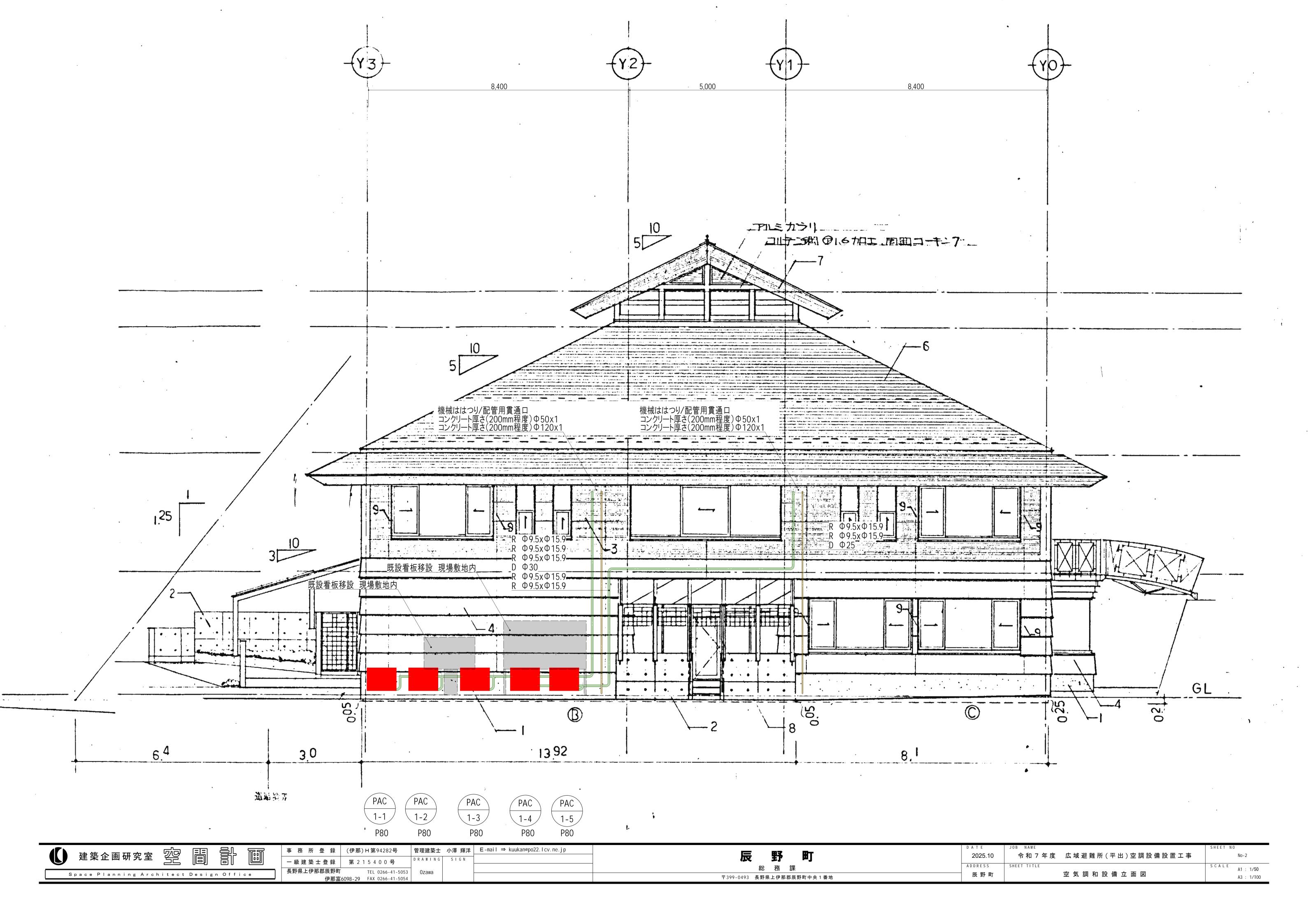
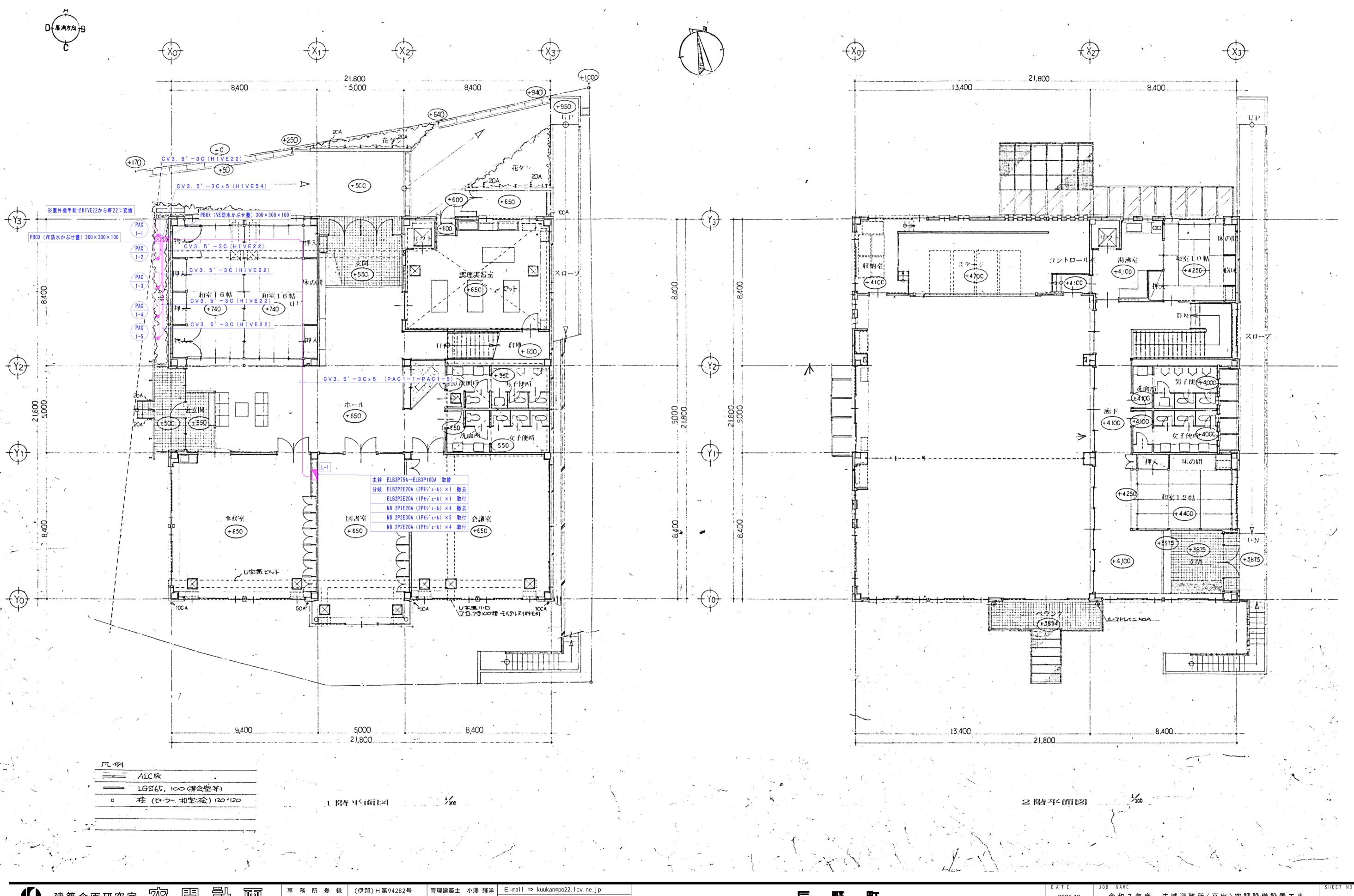
## 令和7年度 広域避難所(平出)空調設備設置工事 (機械設備工事) ・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。●本工事で負担する。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管(出口側)及び冷却水管(出口側)に(・固定形 ・着脱形) I. 工 事 概 要 5 実施工程表及び 実施工程表及び施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する 換気ダクトの保温要(保温厚 2.5mm ・範囲は図示による ・外壁より1m迄 外気取入れダクトの保温要 (保温厚 2.5 mm) ・範囲は図示による ・全て (OA) ・冷温水へッダーの(・各送り管 ・各返り管)に(・固定形 ・着脱形)を設ける。 施工計画書 ・室気調和機の冷温水管(入口又は出口側)に(・固定形 ・着脱形)を設ける。 制御盤には(・給油ポンブ制御 ・満油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンブ制御 ・減油警報 ・ )の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線 ・排気ダクトの保温要(保温厚 2.5 mm) ・還りダクトの保温要(保温厚 2.5 mm) ・範囲は図示による 建物名称 構造 階数 延床面積 (rf) 地区集会所 鉄骨造 2階 966.40 建物 (施設) 引渡しまで請負者は、工事目的物、工事材料等について火災保険等をかけること。 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届けを連やかに警察に提出すること ・膨張タンクよりポイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。 建物内の空気技き管の保温は膨張管の項による。 ・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 は製造者の標準仕様とする。 ・図示の箇所に取付ける。 全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚 2.5 mm) ・範囲は図示による ・全て (SA・EA) ・低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト ●構外搬出適切処理(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により行うこと。また、施工手引 ・イ (・1号 ・2号) 第2章第2により発生材処理報告書を作成のこと。) ダクト 冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・イ <sup>地架</sup> 第2章第2により発生材処理報告書を作成のこと。) 引渡しを要するもの・無・有( ・再生資源の利用を図る ・特別管理産業廃棄物・無・有( ・資格の区分I 電気保安技術者を設置する。 ○配管・冷凍空気調和機器・熱絶縁施工・避築板金 ・厨房系統の排気用ダクトは、共通仕株書より1番手厚いものを使用する。 取付位置は (・図示した位置 ・送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト)とする。 . エ 事 種 目 (●印を付けたものを適用する) 绘水管 ・ロ(凍結防止帯巻き部分) 空気調和設備の該当項目による。 3 メ ン ハ 4 排気ダクトのシ-・厨房系統 ・浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ・ ● 空 気 調 和 設 備 O-式 O-式 O-式 O-式 O-式 O-式 O-式 O-式 空気調和設備の該当項目による。 (14) 電気保安技術者 〇 冷 暖 房 設 備 ピット内配管の保温は、施工手引「施工108」による。 資材の保管は必ず屋根をかけ地上 30cm 以上の架台に乗せる。 排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。 〇 堰 房 股 備 〇 ¬式 共通仕様書第1編1.7.2によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレ なお仕様はd (ハ)とする。 なお仕様はcl (ハ)とする。 (・排水トラップ ・鉛管 ・鋼管類 ・ビニール管 ・ドレーン管 ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 ス値になるが、Min ・ ・ ・ ここになるはが、バルンが守る必要に応じて自然的は最近だとステンピス線等で取付ける。 機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字彫 O 併 班 股 個 O 一式 s 取 扱 贈 明 板 ①総合調整 ・騒音測定 ・初期運転状態の記録) ・別途 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で町長あて報告する。 (管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。) ステンレス銅板製一体形タンクは保温する。なお、仕様は共通仕様書第 5 編 1 . 4 . 2 . 5 による。勤設 の構成・機能 大便器は保温する。 ・共同溝の保温種別 (・ピット内に準ずる・ ) 1 大 便器 洗 浄 角 O 前 版 面 O 一式 O 一 (1)機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 ② 容量等の表示 ダクトの保温外装 ・水坂を装置付 加熱方式 (・貯湯式 ・瞬間式) 総水方式 (・総水管直結総水方式 ・ポンプ加圧総水方式) ・不凍結装置付 ・個別感知フラッシュ方式 (・埋込 ・露出) ・一体型 ・露出 ・ 思べい ・ 水抜き装置付 22 耐 震 措 署 アルミガラスクロス 機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。 3 温水洗浄式便座 | 居室・廊下など ・カラー亜鉛鉄板 5 小便器洗浄 )毀計田水平地震力け 雄哭の雷景(自由本面を右する水嫌その他の贮槽になってけ右効雷景) ■ ■ 外露出、多湿箇所 ハ イ タ ン ク 6 小 便 器 洗 浄 に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は 1.0とする。 設 備 概 要 (〇印を付けたものを適用する) 7 水 栓・節水コマ・固定コマ(・寒冷地対応形・ 8 化 粧 棚 ・陶器製(・露出形・・) 9 石 け ん 受 ・陶器製(・露出 ・埋込) 設計用標準水平震度 ・配管の保温外装 方法及び種別 號 区 分 屋 倉庫・書庫 ◯パッケージ方式 ・アルミガラスクロス 段 置 場 所 ・特定の施設 (・甲類 ・乙類) 重要機器·水槽 一般機器·水槽 重要機器·水槽 一般機器·水槽 ・ファンコイル ・氷蓄熱 ・アルミガラスクロス 居室・廊下な ・取付箇所(・大便器 ・小便器 ・ )材質(・陶器製 ・ ) 房 方 式 床暖房 ・温水暖房 FF暖房 12 大便器耐火カバー ・設ける(ピット内は除く) ・設けない 1 重 水器 ・親メーター(・貸与品・) ・子メーター(・買取り) 2 量 水器 桝 ・水道事業者指定品(・貸与品・買取り) ・標準図MC形 (1.5) 上層階、屋上及び塔屑 屋外露出、多湿箇所 給 水 方 式 ·水道直結式 ·加圧式 ・高置タンク式 (・上水 ・井水) 冷媒管の保温の外装は下記による。なお保温化粧ケースは塩化ビニール樹脂製とする。 山 閉 際 (1.5) 類 JIS又はJV ・水道直結部分(・10K ・ ) ・その他の部分 (・5 K ・建物内汚水、雑排水 (・分流 ・合流) 区 分 保 温 外 装 屋 内 露 出 ○亜鉛鉄板 ・ 保温化粧ケース 屋 外 窓 出 ○ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース・ 屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、 ・建物外汚水、雑排水 (・分流 ・合流) ·要(·本工事 ·別途工事) ·不要 し尿浄化槽 (・合併 ・単独 ・併合) 地下階、一階 5 給 水 勾 6 建物導入部配管 ・不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。 放流先 · 公共下水 内の教信は防振支持の機器の場合に適用する 弁類) は防凍保温を行い、厚さは管径 25mm以下のものは 50mm、管径 32mm以上のものは 40mmとす ・屋内消火栓設備 ・消火器 ・パッケージ型消火設備 消火設備の種別 〉内の数値は水槽類に適用する。 ・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、 2 排 水 勾 配 屋内 ·80 A 以下は 1/50、100A 以上は 1/100以上 ·屋外 1/100以上 ... - ... 産 M 80 A 以下は 1 / 水備 3 満 水 試 験 継 手 図示の箇所に取付ける。 都市ガス(発熱量 3. 上層階の定義は次による。 弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、範囲及び施工方法は図示による。 ガスの種別 2~6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上層 2階、10~12階建の場合 ・液化石油ガス (発熱量 1.2, 0.00 K.c.a.l./K.g.) 各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。 類 JIS又はJV (・5 K ・10 K は上層 3 階、1 3階建以上の場合は上層 4 階 5. 指 定 部 分 ⊙無 ・有 (指定部分しゅん工期限 令和 年 月 重要機器、重要水槽とは下記に示すものをいう。 ・重要機器 (・消火設備 ・冷温水器 6. 概成工期 令和 年 月 日 ・標準図 ((a) ・(b) ・(c)) による。 消股 2 建物導入部配管 ・重要水槽類(・受水槽 2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1/2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。 火備 3 パッケージ型消火設備 Ⅱ.図面目録 冬季 -6.1℃ 60% °C % 概略寸法とする 2 燃 焼 機 器 使用ガス (・都市ガス ・液化石油ガス) 100kg以下の軽量な機器(共通仕様書の適用を受けるものは除く)においても耐震を考慮し据え付け又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 う機種選定およびダクト消音対策を行う 図 面 名 A 特性 (dB) N C 値 機械股備特記仕様書 配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による )・バルク貯槽(・本工事 ・別途 23 他工事との取合い 空気調和設備平面図 ・別 恐 (いっち・標準図による ・標準図の ((a)・(b))による ・親メーター (・貸与品 版工図等の著作権に採わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 ネジ切り機は自動切り上げ装置付とする。ネジ切りに際しては、ネジゲージを使用してネジが適 空気調和設備立面図 3 転倒防止等 管の切断及る ・設ける(測定口は 80のとする) ・ ネジ切り・接続 正に切られているか確認する。 4 ばいじん量測定口 電気設備平面図 エに切りれているい™™®する。 接合材はペーストシール材とし、ねじ山、管内部及び端面に付着している切削油、水分、ほこり - 銅板製 (3.2 mm ・ 4.5 mm) ・ SUS 30 4 (・ 0.8 mm ・ 1.0 mm) ・ 鋼管・低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト ・要(・別途工事 ・本工事) ・不要 など十分に除去した後、おねじ部のみ適量塗布する。また鋼管接続後のネジ切り部及び傷跡等は 6 引込負担金 全てさび止めペイント2回塗布又はプラスチックテーブ1回巻とする。 なお、ライニング銅管用管端防食継手については、コア挿入型は使用しないこと。 ・アングルフランジエ法 ・スパイラルダクト ・コーナーボルトエ法(・共板フランジエ法 ・スライドオンフランジエ法) 8 建物導入部配管 取り付け箇所は(・図示した位置 ・送風機吐出ダクト又は歌込ダクト・外気取入れダクト ・空調機出ロチャンパーの分岐ダクト) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 官公署への手続又は手続変更は、契約後30日以内とし、請負者が代行処理する。 吊金物は吊込み前に防錆塗料2回塗を行う。(但し亜鉛メッキ鋼棒をのぞく) <del>粒メ、株理、消火、キ星火、</del>ドレン管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向 ② 市 金 ② 配 管 勾 放流水質の測定表を提出する。 かって下り勾配とする。 ルース・・ッペース・マッ。 コンクリート内の領管、鉛管及び塩ビ管については、ブラスチックテーブを 1/2 重ね 1 回巻きと する。また、コンクリート土間下配管は、銅棒等により沈下防止措置をする。 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音 内貼りしたチャンパーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があっ する。また、コンソソート上間ト版官は、無情等により以下的圧抑固定する。 土中埋設管(排水舎む)は、管の上下をサンドクッシュン厚 100mm で保護する。 給水管、消火管の埋設深さは「<u>○○</u>mmとする。又、ガス管の埋設深さは <u>——</u>mmとする。 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施工 た場合はこれに協力する。 ァッ。 チャンバーの隅部、吹出口又は吸込口の取付用分岐ボックスの接続部及び隅部は、ハンダ付又は Ⅲ. 工 事 仕 様 9 ダクトの防漏策 図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分 作成し、監督員に提出し承諾を受けた後、 財)日本建築情報総合センターへフロッピーディスク は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テーブを設置する。 - リング材を充填する。 により提出するとともに、 財)日本建築情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを ジーリングがを元449 の。 復傷方式 (・遠隔 ) 定格入力は、DC 24V、0.7A以下とする。 復帰方式 (・遠隔 ) JIS又はJV (・5K ・10K(図示部分)) (●印を付けたものを適用する。) 監督員に速やかに提出する。 共通仕様書第2編2. 8. 1、施工手引第3章施工標準図によるほか充填箇所はシーリング材に 「工事カルテ」の提出期限 ●公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 最新版 (1)受注時登録データの提出は、契約締結後 1 0 日以内とする。 ○長野県機械設備工事施工手引 (最新版)長野県住宅部施設課 ○電気設備工事共通仕様書・標準図(最新版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 32 管の圧カマは (2) 完了時登録データの提出は、工事完了後 10日以内とする。 機器を含めた全系統の満水又は圧力試験を実施する。尚、試験方法については監督員と協議する 取付部は下記による。なお、温度計は工業用パイメタル式温度計(目盛板外径1000)とする。 (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内 (最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕き ・冷凍機の冷水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側)。 に変更データを提出する。 連絡先 (財)日本建築情報総合センター TEL 03-3505-2981 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側)。 FAX 03-3505-2966 エ事の下請金額の総額が建築一式工事にあっては、4,500万円以上のもの、建築工事一式工事 (1)意は●印の付いたもの、項目は番号に〇印の付いたものを適用する。 3 施工体制台帳等 温水発生機の温水管(出入口側) 金気調和機の冷温水管(出入口間) を気調和機の冷温水管(出入口側)及び三方弁装置後の冷温水管(返り)。 冷温水へッダー(往)及び各返り管。 以外の建設工事にあっては、3,000万円以上のものについて、施工体制台帳(下請契約台帳、再下請契約届出書及び施工体系図)を整備する。 (2)特記事項のうち選択する事項は〇印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない 熱交換器の温水管(出入口側) 工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとす ・空気調和機(パッケージ形を含む)のサプライチャンパ、レタンダクト、外気取入れダクト& (別表) しゅん工時提出物 (〇印を付けたものを提出する。作成方法は長野県機械設備工事施工手引による。) 製造業者等が定められている機材については、設備機材等指定表又は、 牡)公共建築協会が実施 びレタンチャンバ。 ・別凶による。 下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出 ・ ( 厨房 )の屋内露出 なる。 なる「建業材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価 を受けた材料・機材等によるほか、これらと同等のものとする。ただし、これらの同等のものと ・温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパ。 ① 提出書類等目録 7 官公署届出書類等 取付部は下記による。 ・温水発生機の温水管(出入口側) ② 完成図 (原図・<del>製本・マイクロ</del> (8) 工具·予備品等 する場合は、監督職員の承諾を受ける。 ,。18日に、三日本スケイの 機材の品質・性能証明 使用する機材が設備機材等指定表による製造業者等のもの又は、「建築材料・設備機材等品質性 冷凍機の冷水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側) -3 設計図(原図・<del>マイクロフィルム</del>) 工事関係資料等引渡書 エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は、 (・常温乾燥 ・加熱乾燥)による。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側)。 4 保守管理手引 10 試運転用油等 ( 🚨) の納品書写 使用する機材が設備機構等指定素による製造業者等のもの又は、「建築材料・設備機材等品質性 能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けたものでお合は、共通性 核書第 1 編第 1 章第 4 節 1 . 4 . 1 (b) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出 を省齢することができる。ただし、共通仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 ② 監 督 員 事 務 所 ③ 工事用電力・用水等 この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 ・ 空気調和機の冷温水管(出入口側)。 ・ 空気調和機の冷温水管(出入口側)。 ・ 熱交換器の温水管(出入口側)。 ・ 熱交換器の温水管(出入口側)。 ピトー管方式によるもので止水コック付とし、形式及び取付部は下配による。なお、着脱形の指 既存のコンクリート床及び壁の配管責通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。 共通仕様書第2編によるほか下記による。 11 青焼A1二つ折り製本2部 A3二つ折り製本2部 (5) 保全に関する説明書 ⑥ 工事完成資料 (2) その他監督員指示によるもの又は特記によるもの 冷媒配管の保温 屋内:冷媒管断熱厚さは液管10mm以上、ガス管20mm以上とする。 屋外:冷媒管断熱厚さは液管10mm以上、ガス管10mm以上とする。 京部は (4 CA 用 個 1 O A9 用 個 2 5 A9 用 個) 附属とする。 注)完成図面の種類は、設計図面に準じて作成のこと。 ・冷凍機の冷水管(出口側)及び冷却水管(出口側)に(・固定形 ・着脱形)を設ける

| <b>1</b> 建築企画研究室 空間計画                  | 事 務 所 登 録 (伊那) H 第94282号 管理建築士 - 級建築士 登録 第 2 1 5 4 0 0 号 DRAWING | 小澤 輝洋 E-mail ⇒ kuukan@po22.lcv.ne.jp |                             | DATE<br>2025.10 | 708 NAWE 令和 7 年度 広域避難所 (平出) 空調設備設置工事 | SHEET NO<br>No-O |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------|--------------------------------------|------------------|
| Space Planning Architect Design Office | 長野県上伊那郡辰野町 TEL 0266-41-5053 Ozawa                                |                                      | 総 務 課                       | ADDRESS<br>辰野町  | 機 械 設 備 特 記 仕 様 書                    | SCALE            |
| Space Franking Architect Design Office | 伊那富6098-29 FAX 0266-41-5054                                      |                                      | 〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央 1 番地 | /[文 主字 □]       | 1及1% 改 網 行 記 江 徐 音                   | NOSCALE          |







| 建築企画研究室 翌 圖 計 圖                        | 事務所登録 (伊那) H 第94282号 管理建築士 小澤 輝洋 E-I  一級建築士登録 第215400号 DRAWING SIGN |    | 2025.10             | 令和7年度 広域避難所(平出)空調設備設置工事 | No-3                                  |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----|---------------------|-------------------------|---------------------------------------|
| Space Planning Architect Design Office | 長野県上伊那郡辰野町 TEL 0266-41-5053 Ozawa 伊那富6098-29 FAX 0266-41-5054       | 形心 | DRESS<br><b>辰野町</b> | SHEET TITLE<br>電気設備平面図  | S C A L E<br>A1 : 1/100<br>A3 : 1/200 |